



第130号
 平成28年11月15日
 発行 茂原市議会報編集委員会
 〒297-8511 茂原市道表1番地
 電話 0475-20-1585
 F A X 0475-20-1611
<http://www.city.mobara.chiba.jp/>



茂原秋まつりでの勇ましい担ぎ手たち

一般会計補正予算などの9議案を可決し、
 決算審査特別委員会を設置

9月定例会

平成28年第3回定例会は、8月31日から9月15日までの会期16日間で開かれました。

この定例会では、市長から平成27年度茂原市一般会計決算認定及び各特別会計決算認定7件、平成28年度茂原市一般会計補正予算、教育委員会委員の任命につき同意を求めることについてなど9件、計16件の議案が提出され、慎重審議の結果、認定案については、閉会中の継続審査となり、その他の議案については原案のとおり可決、同意されました。

なお、平成27年度一般会計の決算審査を行うため、決算審査特別委員会が設置されました。

本会議のインターネット中継が始まりました

茂原市議会では、『市民に開かれた議会』の実現に向けて、積極的な情報公開を推進するため、本会議のインターネット中継を実施しています。中継は、茂原市議会ホームページからリンクされているインターネット中継専用ページから、パソコン・スマートフォン・タブレット等でご覧いただけます。

主な内容

- P 2～P 7 一般質問
- P 7 議案の概要
- P 8 採決結果一覧

一般質問

9月定例会における一般質問は、9月7日、8日、の2日間にわたり10名の議員により行われました。

山田 広宣 議員 (公明党)

○交通インフラについて

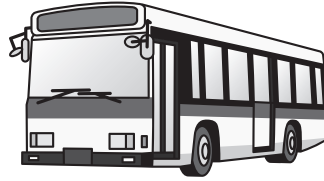
○更新型車両に更新されていない残りの市民バスを更新してはどうか。また、運転免許証自主返納者が申請して受け取る「運転経歴証明書」を、公共交通機関の運賃割引に使えることを知らない方も多いため、広く市民に周知してはどうか。

○老朽化した市民バスの更新

については、平成29年4月の導入に向け、協議を進めている。

運転経歴証明書所持者に対する割引については、証明書を提示することで、市民バス、デマンド交通の利用料金が半額となる。また、千葉県タクシー協会とほう支部に加盟するタクシー事業者では、証明書の提示により運賃が10%割引されるとのことである。

さらに、市内を運行する路線バス事業者では、別途申込みによる「ノーカー優待証」を発行しており、その優待証を提示することで運賃が50%割引されることである。今後は、公共交通の利用案内と併せてホームページで紹介するとともに、関係機関等と協力し周知していく。



○東京オリンピック・パラリンピックについて

○五輪特需が一瞬で終わらない工夫、周辺自治体と協力した仕掛けづくりを要望する一方、スポーツの裾野を広げる絶好のチャンスとも言える。

より多くの市民がスポーツに親しむための施策として本市は何を考えているのか伺う。

○東京オリンピック・パラリンピックの開催は、市民のスポーツに対する関心を高める絶好の機会であるので、元オ

リンピック選手をはじめトツプアスリートを講師に招き、ジュニアスポーツ教室や講演会を開催する予定である。

また、タッチバレーボール大会など、既存の事業の充実を図り、さらに市民がスポーツに親しめるよう努めていく。

その他の質問事項 (山田 広宣 議員)

- ・市民バス、デマンド交通について
- ・教育の情報化について
- ・学校教育のICT化について

杉浦 康一 議員 (もばら21)

○本納地区のまちづくりについて

○本納駅東地区の土地区画整理事業を中止した後、具体的にどのように本地区の基盤整備事業を実施するのか。また、本納地区のまちづくりの上で重要な治水問題を解決するための、赤目川及び乗川の改修の見通しについて伺う。

○本納駅東地区の基盤整備事業については、地区の北側で東西を結ぶ区画道路1号の拡幅整備として、今年度は用地

測量を実施し、来年度からは用地取得を行い、早期完成に努めていく。

その後は、都市計画道路や地区計画により定める区画道路、公園等を市が整備し、良好な居住環境の形成と、地権者や民間企業による土地の有効利用を図っていく。

赤目川の改修は、これまでに全体計画延長7.7kmのうち、約4.3kmが概ね完了している。今年度からA調節池の掘削工事に着手し、未改修区間の整備を推進する見通しと県から聞いている。

また、乗川については、下流の赤目川の見通しが不透明な中、本格的に改修を進めることは難しいが、地区計画内の区画道路等の整備スケジュールと調整を図り、効率的な改修計画を検討していく。

○農業問題について

○自立可能な農業経営に向けて、今後どのような政策展開を考えているのか。特に、稲作経営のための農地の集積をどのように行うのか。また、行政として農家をどのように誘導して未来の農業を守っていくのか、市の考えを伺う。

○産産業としての農業を持続可

能なものとするためには、農業所得の向上と安定が必要である。本市としては、農地の集積や生産基盤の再整備、核となる担い手の育成等の支援を行い、持続可能な農業経営が可能な体制づくりに向けて取り組んでいく。

また、自立可能な稲作専業農家の経営指標として、個別経営体の場合25haの経営面積が必要と考えるので、農地中間管理機構等と連携を図りながら、地区単位での話し合いを通して農地の集積を推進していく。

現在、どの地区でも後継者不足により、中心となる担い手の確保や農地の再整備の必要性、6次産業化等についての話し合いが求められており、高い生産性を追及しようとする地区は、事業費の一部を農



家が負担することになるため、市は関係機関と連携して、あらゆる支援メニューを活用することで農家の負担を抑制するとともに、各地区で農業経営が成り立ち、持続可能な計画となるよう支援をしていく。

その他の質問事項
(杉浦 康一 議員)
・ 茂原駅前通り地区土地区画整理事業について
・ 公立保育所・幼稚園整備計画について

小久保 ともこ 議員 (公明党)

○介護予防について

問高齢者が社会活動に参加することで生きがいや喜びにつながり、介護予防を継続することが可能となる「介護支援ボランティアポイント制度」について、これまでも導入を提案したが、その後の検討状況を伺う。

答介護支援ボランティアポイント制度については、長生郡市地域包括支援センター連絡会議において、導入や活動基準について意見交換を行っている。

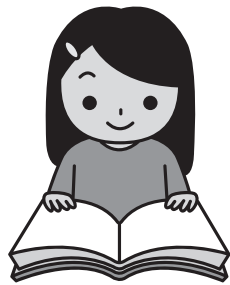
会議においては、ポイントを付与することにより、自主性・無償性・公益性を尊重するボランティア本来の趣旨からはずれてしまうのではないかとという危惧や、介護支援に限定することで他のボランティア活動との公平性が保たれないのではないかという意見が出ており、本市としては、他市町村の取り組み状況を注視している状況である。

○ブックスタート事業について

問平成15年に開始した本事業は、子どもと保護者に対しどのような効果を上げてきたのか。また、フォローアップとして、幼児期から読書に親しみ、習慣としていくため、3歳児にセカンドブック事業を行うべきと考えるが、市の見解を伺う。

答第三次茂原市子ども読書活動推進計画策定にあたり実施した市内小中学生に対するアンケートで、本を読むことが好きになった理由の中で、「小さい頃家族に読んでもらった」が低学年では最も多く、ブックスタートが子どもたちの読書に対する最初の動機付けになっていると思われる。

また、3歳児家庭教育級を受講した保護者から「ブックスタートで配付された絵本が初めての読み聞かせのきっかけになった」「絵本を読み聞かせることで子どもとの触れ合いの時間を過ごせた」等の意見が寄せられていることから、ブックスタート事業は子育て支援の大きな一助になっているものと考えられる。



その他の質問事項
(小久保 ともこ 議員)
・ 「生涯活躍のまち」構想について
・ 学校における読書活動について
・ 子どものB型肝炎対策について
・ ドナー登録の推進について
・ ドナーに対する支援の拡充について

竹本 正明 議員 (政明クラブ)

○東京オリンピックにおける協力的体制について

問2020年東京オリンピックのサーフィン競技が一宮町で開催される場合、一宮町はもとより長生郡市の知名度を世界に知らしめる絶好のチャンスである。長生郡市広域市町村圏組合の長である田中市長のリーダーシップで広域的協力対策組織を作り、バックアップ体制をとるべきと考えるが如何か。

答一宮町でオリンピック・パラリンピックが開催される場合の周辺市町村によるバックアップ体制については、今後広域での連携が必要であると考えられるので、積極的に一宮町及び関係市町村と連絡を取り、対応策等を検討していく。

なお、本市では既に庁内担当課による意見交換会を開催し、何が支援できるか等、取り組み内容を検討しているところである。

○公共施設の耐震改修工事について

問市民センターに4億円かけて耐震リニューアル工事を実施したが、トイレにウォッシュレットは無く、一部床の張替えも無く、壁の塗り替え無し等不十分に感じられるが、どのような考えで工事を実施したのか。また、入居希望のある市営住宅について、空き部屋の改修を行い要望に応える考えはあるのか伺う。

答総合市民センターでは、平成24年度に耐震診断を行い、耐震補強が必要との報告を受け、翌25年度に利用者の安全確保を基本として耐震補強工事設計を行い、平成27年度において予算を確保し、耐震化工事を実施した。本工事は、耐震補強による利用者の安全確保を第一とし、これに併せて、特殊建築物定期調査報告に基づいた避難設備や消防設備、エレベーターの改善や改修が必要とされる内外装について精査した上で実施したものである。

また、市営住宅については、近年の募集に対する倍率で見ると減少傾向にあり、要望に對しては概ね応えられているものと考えている。空き部屋の改修は、老朽化等により多額な費用が必要な住宅もある

が、居住ニーズの高い住宅については、需要に対し必要な戸数を確保していけるよう努めていく。



その他の質問事項

(竹本 正明 議員)

- ・地方創生政策として茂原市独自のプレミアム商品券の発行を考へてはどうか
- ・真名市営住宅の統廃合について
- ・老朽化した給食センターの建て替えについて

飯尾 暁 議員

(日本共産党茂原市議員)

○国民健康保険について

問 納税すると生活保護以下の収入となる世帯があるなどの国保事業の問題への認識、また、財政が逼迫した場合、財

源を保険税増額に求めるのかを伺う。社会保障である国保の税額の適正化は国に責任を果たさせ、自治体は引き下げを行うべきことを強く要望する。

答 本市の国民健康保険事業の現状は、被保険者の減少による国保税の減収に反して、保険給付が増加していることにより、財政バランスを保つのが難しくなっている。保険給付の増加については、被保険者の高齢化と医療の高度化によるものが主な原因と考えているが、国民健康保険事業の安定的な運営が最重要であると考え、今後とも予防医療に力を注ぎ、医療費適正化に努めていく。

また、国保財政については、医療費適正化や予防事業を推進していくが、保険給付費が増加し、財政が逼迫した場合、基金の取り崩しなども検討し、極力被保険者に負担を求めないよう国保事業の健全かつ安定的運営に努めていく。

○防災について

問 地域振興にも貢献する、弱者対策としての家具転倒防止金具取り付けや住宅リフォーム助成制度についての市の考

えは。また、東郷宮原地区の住民、特に高齢者には、二次避難所が遠く、新たな指定の要望がある。災害時の避難など、現状の留意点を伺う。

答 家具の転倒防止金具は、比較的安価で容易に取り付けられる物が多く販売されているので、各家庭において対応していただきたい。住宅リフォーム制度については、今年度より、「地震災害」の減災につながる耐震改修工事と同時にを行うリフォーム工事について、補助金を交付できるように制度を拡充した。

また、災害避難について、東郷宮原地区には、現状の避難所以外に適した施設がないため、新たな避難所の指定は考えていない。東郷宮原地区に限らず、避難については、あらかじめ居住地で想定さ



れる災害に応じた避難の仕方や避難経路などを地域で考えておくことが、重要であると考えている。

その他の質問事項

(飯尾 暁 議員)

- ・社会保障・税一体改革と茂原市の社会保障について

前田 正志 議員 (もばら21)

○子育て支援の取り組みについて

問 本市における子育て支援について、産前産後サポートセンターの設置等の様々な取り組みが進められているが、今後導入を検討している施策はあるのか。また、子育ての情報は父親にも周知されているのか。

答 保育事業では、公立保育所における「延長保育事業」の拡充と、現在、私立保育園で行っている「一時預かり事業」を公立保育所でも実施しようとして検討している。また、児童を預けたい方と預かりを行うことを希望する方の仲介を行う「ファミリーサポートセン

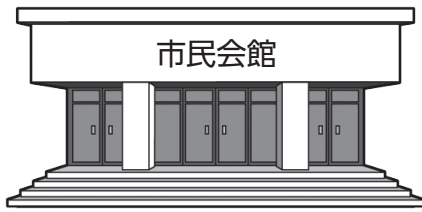
ター事業」について、来年度からの実施を目指して運営手法の検討を行っている。

保健事業では、来年4月の改正母子保健法の施行に伴い、市町村は「母子健康包括支援センター」を平成32年度までに設置し、妊娠前から子育て期に至るまでの支援をワンストップで行うよう努めるものとされた。本市としては、すでに開設している「産前産後サポートセンター」の機能拡充を図り、「母子健康包括支援センター」の設置に向け、取り組んでいく。

子育て情報の父親への周知は、妊娠届出や各種教室等のために産前産後サポートセンターを訪れた際、職員が説明するなどの案内をしている。また、こんにちは赤ちゃん訪問時に、「もばらで子育てガイドブック」を配付し、周知を図っている。

○公共施設の今後について

問 公共施設の老朽化が進んでいるが、中でも市民の関心が高い市民会館の建て替えについて市民の要望を聴く機会を設ける考えはあるのか。また、自治会が所有、管理する集会所等の建て替えが必要となっ



た場合の支援についての考えを伺う。

答市民会館の建て替えの際には、市民の方々を含む外部委員を交えた検討委員会の設置を考えている。さらには市民アンケートを実施し、市民の方々の要望を聴く機会を設けるとともに、意見を反映できるように努めていく。

また、自治会が所有・管理する集会所等の建て替えの支援について、市では費用の一部補助をしているが、補助金の交付を受けると5年を経過するまで次回の補助対象とならないため、各自治会に対して、計画的な建設及び改修をお願いしている。

- その他の質問事項
(前田 正志 議員)
- ・本市の将来展望について
 - ・東京五輪サーフィン競技について
 - ・産業振興・雇用確保について
 - ・父子手帳について
 - ・学区の見直しについて

向後 研二議員 (もばら21)

○まちの魅力を活用した賑わいづくりについて

問本市にとって、茂原七夕まつりがどのような意義を持つものなのか。また、商店街が衰退していく中、将来に渡り持続可能な本市最大の観光イベントとして存続させていくために、今後どのように取り組んでいくのか、市の考えを伺う。

答茂原七夕まつりは、本市へもたらす経済効果はもとより、「茂原の認知度を高める」「茂原への訪問を促進する」など交流人口を増加させ、更には「茂原に移り住んでもらう」など、移住人口の増加にもつながる非常に重要なイベントでもある。また、地域の人々が自らの地域の魅力を感じ、その地に住むことに誇り

と愛着を持つことは、定住人口を維持する効果があるので、本市にとって価値のあるイベントであると考えている。これまで茂原七夕まつりでは、市民参加による様々なイベントを取り入れており、今後多くの市民や観光客が気軽に、また、親子でも参加できる環境を整備するなど、更なる市民参加によるイベントの活性化に取り組んでいく。



○人材育成と組織づくりについて

問市総合戦略の実効性を更に高めるための職員育成や市の組織づくりについて、今年度の職員採用における試験内容や面接試験において特に重視しているものは。また、社会人専門職経験者、有識者等の

即戦力となる適材適所での採用枠を設ける考えはあるのか。
答職員の育成については、人材育成基本方針に基づく各種研修の実施や今年度から個人目標を設定し、上司との面談による指導を行うなどにより、各職員の能力向上を図り、総合戦略の事業が円滑に進むよう努めている。また、組織づくりにについては、企画政策課内に重要施策を積極的に推進するための政策推進室を設置し、計画の策定及び進行管理を行っている。

今年度実施の採用試験については、1次試験では教養試験と作文試験、2次試験では個別面接試験と適性検査、3次試験では個別面接試験を実施する。昨年度より、個別面接試験を2回実施し、公務員として適正な人物の採用を心掛けていく。

市の業務は高度化・専門化してきており、それに即戦力として対応できる職員を確保する方法として、任期付職員制度がある。市では、現在高度の専門的な知識経験又は優れた識見を有する3名を任期付職員として採用し、制度の活用を図っている。

- その他の質問事項
(向後 研二 議員)
- ・まちの魅力の発信について
 - ・東京オリンピック・パラリンピックの開催について
 - ・長生地域観光連盟、中房総観光推進ネットワークについて

平 ゆき子 議員 (日本共産党茂原市議団)

○介護保険制度の取り組みについて

問要支援1・2の訪問・通所介護の受け皿となる総合事業の利用は、簡素な基本チェックリストの判定で可能となるしかし、この判定では住宅改修や福祉用具の貸与・購入を含め、一切の介護サービスが利用できない。総合事業でも認定調査を基本に対応すべきと考えるが、市の見解は。



○総合事業においては、認定調査によらず、窓口での基本チェックリストによる判定でサービス利用が可能となっているが、利用できるサービスが限定されることから、利用者の意向に配慮し、認定調査を基本として対応していく。

○第二調節池増設について

問第二調節池増設計画が進む一方、既設の調節池の維持管理は手付かずの状況である。池底は年一回ブルドーザーで除草し、そのまま放置している。土嚢の劣化、周辺道路の陥没や亀裂、桜や植木の手入れ等、地域住民にとって劣悪な環境状態の改善をどう行うのか、市の見解を伺う。

答調節池内の管理については、年一回、底部の草はブルドーザーによる除草、周囲の法面は人力による草刈りが行われている。また、調節池の堤防については、地盤沈下や陥没の応急対策として一部土のうによる処置がされているが、今後、県において対策を検討すると聞いている。土のう積み箇所のかさ上げの基本構造は土堤によるものとしているが、背後地の利用状況を考慮して実施していくとのことである。

また、周辺道路の陥没や亀裂について、調節池周辺の市道は池の管理道路も兼ねているので、長生土木事務所と補修について協議している。一方、桜の木については、枝が市道に張り出して通行の妨げになった場合は、市が伐採を行っている。

その他の質問事項
(平 ゆき子 議員)
・交通政策（市民バス・デマンド交通の現状と今後の取り組み）について

はつたに 幸一 議員
(無会派)

○市民からの情報の汲み上げとシティプロモーション活動について

問シティプロモーションを推進するには、市民に満足してもらうことが重要であると考えるが、シビックプライドの醸成に向けて、市民の意見を取り込むために、どのような取り組みを行っているのか。また、いち早く手掛ける事が重要だが、その時期も伺う。
答シティプロモーション活動

を進めるためには、市民が自らのまちを思い、多くの人が共感し、自発的にまちづくりに参加するシビックプライドは重要なものと考えている。現在、市民からの情報収集は行っていないが、今後は市民参画による魅力の発見や、従来は魅力とは考えられなかったものを見直し発信していくなど、市民参加による「シティプロモーション戦略プラン」の策定を検討しており、これを進めることにより市民のシビックプライドの醸成は図れていくものと考えている。

今後、庁内関係部署により、シティプロモーション戦略プラン策定に向けた課題の整理・検討をする組織を立ち上げ、早期の策定に向けて取り組んでいく。

○バスターミナル構想について

問インバウンド（外国人観光客）をも含む来訪者や、更には人口の増加を図ることを目的に、圏央道の開通で向上した利便性を活かし、バス交通網を整備すべきと考えるが、バスターミナル構想等の検討を行っているのか。また、検討しているのであれば、その

時期を伺う。
答バスターミナル構想については、地域全体を見渡した公共交通ネットワークの再構築を目的に、地域公共交通網形成計画を策定する方針であるため、その中で検討していくことを考えている。この計画は、現在の地域公共交通計画の計画期間が満了となる、平成32年度を目途に策定していく。

また、バスターミナル構想と併せた新市街地の整備については、現在、既存の市街地をコンパクトな集約型都市構造のまちにしようと考えているので、新たに市街地を整備することは極めて難しいと考えている。



その他の質問事項
(はつたに 幸一 議員)
・市職員の意識の向上について
・産科医問題と予防医学（フック化物洗口）について
・本納公民館について
・地域資源の活用について

佐藤 栄作 議員
(公明党)

○空き家等の対策推進について

問空家対策特別措置法第6条に規定の空家等対策計画を策定し、対策を計画的に進めるとともに、空き家の活用方法として、空き家バンク制度を導入してはどうかと考えるが、市の見解を伺う。
答計画策定前においても、ある程度の空き家対策を行うことは可能であると考えているが、計画的に行うには空家等対策計画の作成が必要であるため、今後検討していく。

空き家バンク制度の導入については、国において平成29年度に空き家バンクの一元化を検討しているとのことから、その動向を注視し、対応を検討していく。

○イノシシ対策について

問イノシシ対策については、捕獲檻数の不足やイノシシの強い警戒心のため、檻の設置場所の再検証などの対策が必要であるが、今後の取り組みとして、先進対策事例や被害

発生場所を記載の地図を利用した電気柵設置方法の研修など、地区別に対策を学ぶ機会を設けては如何か。

罨イノシシの捕獲強化に向けて、隣接する自治体と連携した広域的な取り組みや、地域ぐるみでの取り組み体制を整える必要があるのが、現在、鳥獣被害防止対策協議会の立ち上げについて検討を進めている。この協議会の立ち上げにより、様々な取り組みも可能となり、また、国の補助事業も活用できるようにするので、協議会の立ち上げについて検討を進めていく。



その他の質問事項
(佐藤 栄作 議員)
・アライグマ、ハクビシン対策について
・稲作被害の防止について

議案の概要

予算関係

◎平成28年度茂原市一般会計補正予算(第2号)

〔内容〕歳入歳出予算の総額に2億9133万7千円を追加し、その総額を301億1768万8千円とするものです。主な内容は、ふるさと納税の推進に係るふるさと茂原まちづくり応援寄附推進費及び基金費の増、道路橋梁維持補修費の増、排水整備事業費の増、小中学校管理補修費の増等により、増額補正するものです。

◎平成28年度茂原市特別会計下水道事業費補正予算(第1号)

〔内容〕歳入歳出予算の総額に885万6千円を追加し、その総額を16億6164万4千円とするものです。内容は、機械設備修繕工事に係る処理場管理事業費の増により、増額補正するものです。

条例関係

◎茂原市の議会の議員及び長

の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について
〔内容〕公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動の公費負担の一部を改正するものです。

◎茂原市手数料条例の一部を改正する条例の制定について

〔内容〕建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律の制定及び建築物に係るエネルギーの使用の合理化の一層の促進その他の建築物の低炭素化の促進のために誘導すべき基準の改正に伴い、認定申請手数料に関する事項について所要の改正をするものです。

◎茂原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について

〔内容〕家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の改正に伴い、所要の改正をするものです。

◎茂原市中小企業融資等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

〔内容〕中小企業の新たな事

業活動の促進に関する法律の改正に伴い、所要の改正をするものです。

◎茂原市公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について

〔内容〕下水道使用料の不正未払い等を防止する観点から、使用態様の変更に關する届出の義務を明確にするものです。

人事関係

◎教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて

〔内容〕現委員の任期満了に伴い、新たに高貫裕一郎氏を任命するため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第4条第2項の規定に基づき、議会の同意を求めらるるものです。

その他

◎財産の取得について

〔内容〕(仮称)茂原市学校給食センター建設用地の取得をするため、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例第3条の規定に基づき、議会の議決を求

めるものです。

★認定案第1号「平成27年度一般会計決算認定」並びに認定案第2号から第7号までの「各特別会計決算認定」については、閉会中の継続審査といたしました。

特別委員会を設置

平成27年度一般会計の決算審査を行う決算審査特別委員会が9月9日に設置され、そ



現地視察(総合市民センター耐震改修工事)

委員長 竹本正明	副委員長 常健一	委員 飯尾健一	委員 向後研二	委員 杉浦康一	委員 はつたに幸一	委員 山田広宣	委員 前田正志	委員 金坂道人	委員 中山和夫	委員 細谷菜穂子	委員 森川雅之	委員 鈴木敏文	委員 ますだよしお	委員 腰川日出夫	委員 深山和夫	委員 三橋弘明	委員 初谷智津枝	委員 竹本正明	委員 常健一	委員 市原健二
----------	----------	---------	---------	---------	-----------	---------	---------	---------	---------	----------	---------	---------	-----------	----------	---------	---------	----------	---------	--------	---------

平成27年度
一般会計決算審査
特別委員会委員

の審査が10月4日から6日にかけて行われました。
審査初日は市長の総括質疑が行われた後、平成27年度中に実施された「豊田小学校管理教室棟外1棟耐震補強工事」及び「総合市民センター耐震改修工事」の現地視察を行いました。
2日目以降は歳入、歳出についての質疑が行われ、平成29年度予算の編成に向け、委員から多くの意見や要望が出されました。

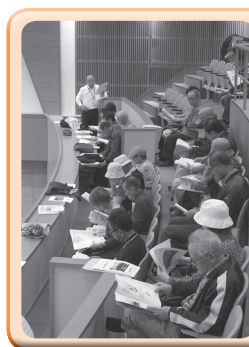
平成28年第3回定例会 議員別表決結果一覧

議案名等	議員名等	審議結果		飯尾	向後	杉浦	はつた	平久保	小久保	田畑	山田	佐藤	前田	金坂	中山	細谷	森川	鈴木	ますだ	腰川	深山	三橋	初谷	竹本	常健	市原
		可決	全会一致	暁	研二	康一	幸一	ゆき子	ともこ	毅	宣	作	志	人	よし	和夫	菜穂子	雅之	敏文	よしお	日出夫	和夫	弘明	智津枝	正明	健一
第1号	平成28年度茂原市一般会計補正予算(第2号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第2号	平成28年度茂原市特別会計下水道事業費補正予算(第1号)	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第3号	茂原市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第4号	茂原市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第5号	茂原市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	可決	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第6号	茂原市中小企業融資等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第7号	茂原市公共下水道条例の一部を改正する条例の制定について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第8号	教育委員会委員の任命につき同意を求めることについて	同意	賛成多数	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
第9号	財産の取得について	可決	全会一致	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	欠	○	○	○	○	○
陳情	第7号	指定難病以外の難病・疾病対策の充実に関して国等への意見書の提出を求める陳情	不採択	賛成少数	○	×	×	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	欠	×	×	×	×	×
陳情	第8号	千葉県VOC条例・大気汚染防止法違反のVOC排出無届施設の違法稼働を停止させ、関係者とJDIの厳重なる処分を求める意見書の県関係諸機関への提出を求める陳情	不採択	賛成なし	退	×	×	×	退	×	×	×	×	×	×	×	×	×		×	欠	×	×	×	×	×

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 欠：欠席 退：退席 除：除斥
※議長は表決に参加しないため、空欄になっています。

月日	会議内容
15日(木)	・議案等の総括審議
9日(金)	・議案質疑後委員会付託
8日(木)	・一般質問
7日(水)	・一般質問
12月 30日(水)	・会議録署名議員の指名 ・会期の決定 ・議案の上程説明 ・請願・陳情の上程後委員会付託

次回の定例会は
11月30日(水)から
開催されます



公共施設見学会が
開催されました
市主催の公共施設見学会が10月12日に開催され、27名の方が市議会を見学されました。当日は、議場傍聴席で議会の概要の説明を受けた後、議場、正副議長室、全員協議会室、委員会室などをご覧いただきました。